

(ただしタイの銀行は1年間まったく取引がなかったり、
預入れの金額が500バーツ以下になると維持手数料がかかる
銀行もあるので注意です。)
カシコーン銀行は2000バーツを切ってしまうと手数料かかるそうです。
口座開設で 300バーツ
毎年カード利用更新手数料200バーツ
初期預け入れで 500バーツ
となるとのことです。(もちろん変更の可能性あります。)

「あの時口座開設だけでもやっておけば良かった・・・。」
そう思わないためにも
やはり金融の世界でも情報の世界でも先行投資というのが
より重要になってくるものと思われまます。
もちろんリスクを取れる範囲でいいのですが。

結局開いておいちゃったもの勝ちのような気がします。
ちなみにわたくしもHSBC口座を開きに行きまして、
その後ほとんど動かしていません。

ファンドのレポート等だけ送られてきますので、アクティブに活用してませんが、
1・将来的にどんどん使っていくのと、
2・先行投資+実践しないと分からない部分が多いので
口座開設しに行ったのです。

タイ株に関心ある方も先に動き出してしまった方がメリット高いです。
もちろんいろいろなリスクを考えて勉強してからが前提ですが。

さてそれでは第18号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。

(こちらのメールマガジンは転送可となっています。
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にはどんどんお伝え下さい。)

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

今回はタイの株価チャートに関してのお話をしようと思います。

昔わたくしが説明したことのある、TISCO証券タイのホームページ
「TISCOトレード」
<http://www.tiscoetrade.com/Tisco/login.jsp>

ここから左下に見える「Stock Info」をクリック。
それから銘柄コードを入力し、「Go」を押せば、

1年間のチャートだけ閲覧可能です。
株価情動的なものは一通り見るができます。

しかし、
最近特に多くなった質問で、
「まだ口座開設していませんが
タイ株銘柄のチャートを数年間見れるサイト教えて下さい」
と言うのがありました。

一応メールマガジンで告知しておきます。

- 1、ブルームバーグのホームページ <http://quote.bloomberg.com/>
のページへ飛びます。
- 2、Enter Symbol の部分へ見たい銘柄のコードを入れます。
例えば PTT でしたら PTT-R : TB
これは NVDR の-R (半角ハイフンで R を付けます)
それから国銘柄の TB をくっつけないといけません。: も忘れずに。
- 3、それからその右隣りにある CHART をクリックします。
そうすると PTT の銘柄ページに飛ぶのでそのコードを再びクリックします。
- 4、そこで、左から順番に

QUOTE PTT の銘柄の基本的な情報 株価・ファンダメンタルズ・SET との比較
CHART チャートが出てきます。
これがすごいのは5年まで見れます。
NEWS 英語ですが最新ニュースも見れます。

以上です。
まだ口座開設していないかたは
じっくり見てみましょう。

管理人のコメント :

こう言った情報は知らない方にとっては
大変有益ですので、どんどん転送してください。

わたくしのメルマガ読者だけ知ってても良いのですが、
周りに教えてあげるだけで、
どんどんタイ株の良い情報が回っていきますので。

次号も面白い情報を出来るだけ伝えていけるよう
頑張ります。

□□ No 2 タイ株上級者編です ■■
過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 018 RRCです。 ○○
タイでの製油所経営 第2位の会社です。

ラヨン・リファイナリー (RRC) は1992年にPTT (36%出資) とシェル石油 (64%) によって設立された企業です。
タイ国内で石油精製事業で第2位を誇る大企業となります。
1日の石油精製量は14万5000バレル。
精製された石油製品の90%がタイ国内消費。残りは輸出されています。

2004年にPTT側がシェル石油より株式64%を買収することを合意してPTTの子会社になっています。
06年末からアロマティクス・タイランド(ATC)との合併話が進んでいて、07年7月23日、同じPTT子会社で石化大手のアロマティクス・タイランド(ATC)の合併を発表しました。
両社は製油と石化の川上と川下の関係で、合併することで生産コストや製品流通の迅速化を図れるとしています。
さらには新会社の誕生でBOI(タイ投資委員会)の税制優遇恩恵も得られるとしています。

製油会社ラヨン・リファイナリー (RRC) の2006年決算内容では総売上が05年比26.4%増の1807億8800万バーツ、最終利益がマイナス35.2%減の77億6100万バーツと言う結果でした。
06年度は石油精製マージン指数であるGRM指数価格が高まり、RRCの収益を圧迫しました。
06年後半は落ち着きを見せたGSM指数も07年度から再び上昇傾向にあり、世界的な原油の価格動向に大きく左右されることになっています。
アロマティクス・タイランド(ATC)との合併交渉は遅れていますが、07年内には結論が出されて統合へ向かう予定です。

管理人のコメント

ラヨン・リファイナリー(RRC)はタイ国内でNo 2の製油事業の企業です。No 1もPTT傘下のタイ・オイル(TOP)ですが、タイ・オイルはチョンブリ県の地区に製油所があり、タイ最大の石油化学コンビナートのある「マプタプット工業団地」からやや距離があります。

しかし

RRCの現在建設中の製油事業所ではこの地域にあると共に、ATCが建設する東部ラヨン県の新工場

「アロマティクス・コンプレックス II」は、2008年7~9月期の稼働開始が予定されていて、高い相乗効果が見込めるものとしています。

<http://truethaksin.com/index.html>

どこの会社が作ったのでしょうか。
ちなみに日本語版はないようです。

クーデター後、そして裁判で係争中のもの、最新ニュースなどを
書いています。

総選挙までに丸く収まればいいのですが、
難しいかもしれません。

□□ N o 4 追伸です ■■

◎次号キャンペーンのお知らせ

もう読者数2000人突破したのですが
まだ教材のOPENは先になりました・・・。
ブルームバーグのページ情報でしばらくは研究していただければ幸いです。

次回発表する教材を持ってれば

- 1・タイ株式市場の銘柄が何があるのか視覚的にすぐ分かる。
- 2・タイ上場企業の大きさ、関連性がすぐ分かる。
- 3・タイ企業同士のつながりも分かる。

ようになってます。(事前に見てみたい方がいましたら
メールいただければ幸いです。割引価格になります。)

最後までお読みいただき、ありがとうございます！
阿部

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、
投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が
発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之

TOSHIYUKI ABE

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

